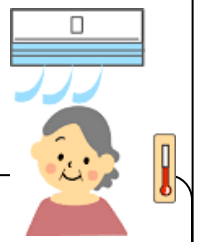
脳・神経センター・リハビリテーションセンター

長崎北病院 伝言板 7月号

令和7年7月1日発行

7月。以前は小中学校の終業式の頃に梅雨明けだった記憶があります。今年は6月中に明けてしまいました。九州北部では今年の梅雨入りは6月8日。平年より4日遅れ。梅雨明けは6月27日。22日早い。平年であれば46日間ある梅雨期間が今年は23日間。なんと半分！すでに夏本番、猛暑に突入💦体も気持ちもまだ「梅雨明け、夏」に追いついていません。水分摂取、エアコン。夏に追いつきましょう。



「グルクンの唐揚げ」

先日　長崎の沿岸に船釣りに出かけた方からお魚をいただきました。丸々と太った魚が3匹。アジでもないサバでもない。何？どうも「タカサゴ」という魚のようです。沖縄では「グルクン」と呼ばれます。沖縄では県魚となっているポピュラーなお魚です。長崎でも少しは穫れていたようですが食べるのは初めて。から揚げとなって美味しくいただきました。長崎沿岸も温暖化でグルクンも沖縄から進出しているのかもしれません。6月に梅雨明け、雨降れば豪雨、連日の猛暑。日本はもう亜熱帯です。

例年、夏になると脱水、熱中症で受診される方が増えます。今年はさらに危ない。近くの仕事場や、野外で仕事中にふらふらになって来院される方。自宅や買い物中に暑さにやられた高齢者の方など。場合によっては命に関わります。定期的飲水、エアコン、一番暑い時間帯は外に出ないなど命を守りましょう。体調がおかしいと思ったらすぐ受診しましょう。早めの対応がよろしいと思います。



猛暑の中でも、たくさんの患者さんに受診いただいております。コロナ禍の時期は電話での状況確認で投薬が可能でしたが、その制度がなくなりました。投薬には受診が必要です。猛暑ですが申し訳ありません。体調に気をつけて？受診してください？

最近話題になっていますが、地方では人口減、看護師不足などで病院の倒産、閉院が相次いでいます。長崎でも昨年6月に佐世保の杏林病院が倒産、今年2月には長崎矢上の千綿病院が閉院。そして7月いっぱいで島原マタニティクリニックが閉院します。公的病院も軒並み赤字と言われますが、公的資金（税金ですが）の注入で潰れることはありません。しかし、民間病院では赤字が続けば倒産しか道はありません。今後も閉院や病床を減らす病院が出てくると思います。当院は昨年度は何とか黒字。「北病院が危ない」と噂にならないように、医療の質は向上させながら赤字は出さない。赤くなったり青くなったりしながら頑張るしかないようです。



当院は2007年に現在の場所に新築移転。余裕を持って設計したつもりですが約20年経過し、患者さんの数、職員数も増えました。新しい医療も加わっています。診療機器は古くなり、建物も手狭になっています。最新、最適な医療を提供するには現状維持では困難です。お金はなくとも何とかしなくちゃです。すでにMRIや電子カルテなどは数億円かけて更新しました。その他にも不具合や、不足も出てきています。

リフォームや建て増しを念頭に、現状で何が不足か、どうすれば成長できるか各部門にアンケートしました。出るわ出るわ。外来診察室不足、点滴室不足、検査室不足、外来リハ、通所リハ手狭、倉庫や備品庫不足などなど。納得の問題がたくさんありました。「水道の自動水栓不具合」「蟻が出る」「パソコンのOSが古い」などなど現場ならではの訴えも（これらは事務に言って対応してもらってください）。何を優先してどこまでできるかなどやりくり、検討が必要です。（A.S.）